

横浜DeNAベイスターズのファンが急に増えて、チケットが手に入りにくいと言います。昨年は3位になってクライマックスシリーズに残り、ジャイアンツを破り、リーグ優勝した広島カープを破りあれよあれよという間にソフトバンクと日本シリーズを争うことになったのです。残念ながら横浜に在籍していた内川選手の一発で王冠はとれませんでした。残念ながら横浜に在籍してはと期待していたのですが、昨年大活躍した投手陣が不調で、今年入団した新人東投手が10勝をあげて一人勝ちが目立ち、同じく今年から参加した外国人ソト選手が驚異的な42本のホームランを打ち盛り上げたのですが、クライマックス寸前の試合になぜか連日負けて4位で終わりました。シーズンオフに横浜スタジアムを増設してキャパを6000人増やそうと現在工事中です。2020年のオリンピックイヤーには野球のメイン球場になるので工事も急ピッチです。さて、25日(木)ドラフト会議があり、ベイスターズは報徳学園高校の小園海斗君を1位に指名したのですが、他に3チームいて抽選になりました。高田GMが引いたのですが広島にとられました。高田GMは今まで一度も当たったことがない人で極めてくじ運が悪いと自分でも言っていました。しかし再度の1位は東洋大学の上茶谷大河君でした。予想では今まで続けて左投手なので右投げがほしいと新聞に書いてあったので、上茶谷大河君と選んでいたら彼でした。ヤクルトが追随しましたが、三原代表がさりげなく当てたのです。彼は東都大学リーグで150キロの速球で20三振を奪って三連覇を果たした選手で最優秀投手など賞を総なめにした選手です。横浜の試合を見てユニフォームもおしゃれだし、ここで野球をしたいと言ったそうなのでやはりご縁ですね。

この野球場の歴史は古く明治7年に彼我(ひが)公園とし、その中央に居留地の外国人たちがクリケットグラウンドを作り、そこで第一高等学校(今の東大)と外国人が日本では初めての野球の試合をしたのです。結果は「29対4」「32対9」と東大が大勝した記録があります。やがて関東大震災で崩れ、今の野球場の姿になり、1934年に見えたベーブ・ルースとルーゲーリック等アメリカの選抜チームと日本の職業野球チームとの試合では21対4で日本の大敗でした。戦時中は捕虜収容所になっていました。その捕虜たちが日本兵に連れられてよく父の店に修理に必要な材木を運びにきました。父は捕虜たちに優しく、人気者でした。名を藤太郎と言いましたので「とーさん」と呼んでいました。母もリンゴなど剥いて、少しですが捕虜に食べてもらっていました。ある日父が煙草を吸っているのを見た一人の捕虜が吸いかけをねだるので、父は「吸いかけだよ」と言って渡すと美味しそうに吸っているのだそうです。すると他の捕虜も俺にも我にもと来たので配給で少ない煙草を半分に分けて吸ってもらったのです。その日の午後、兵隊の中では鬼より怖いという憲兵(朝ドラをご覧になっている方はおわかりだと思います)が軍人の中の怖い警察官なのです)がきて父を連行していったのです。夜遅く釈放された父は憤慨し、「捕虜も人間だ」と悔しがっていたと言います。次に捕虜が来たとき、父はなげなしの煙草を二つに折って材木

写真左から「ハローよこはま」子ども・ジュニアコーラス



今後のスケジュール

11/8 (木)~14 (水) 横浜夢座 五大路子主演 「赤い靴の少女・母かよの物語」 ランドマークホール 割引きあり ランドマークタワー4F
11/11(日) 11:00~12:30 赤い靴フォーラム(入場無料) 日本各地の赤い靴の代表者集合 赤い靴ジュニアコーラス出演
12/9(日) 磯子音楽祭 14:30より 入場料1000円 杉田劇場 赤い靴ジュニアコーラス(ATF、青隊出演)
12/23(日) 24(月・祝) クリスマスキャロル(観覧自由) ヨコハマランドインターコンチネンタルホテル 1Fロビー 赤い靴ジュニアコーラス赤隊 午後5時、7時 2回演奏
2019/1/27(日) 横浜市民ミュージカル公演 「空飛ぶ絵師の贈り物」 新装の関内大ホール (詳細後日)
2019・1/20(日) 中区合唱祭 横浜市開港記念会館 1:00~ 赤い靴ジュニアコーラス 青隊・ATF 出演 男声合唱団 出演 入場無料
3/27(水) 杉田劇場(ご招待) 第32回 定期演奏会 赤い靴ジュニアコーラス

写真右から五大路子主演「赤い靴の少女」記者発表、「東京湾大感謝祭」子ども・ジュニアコーラス

置き場にまきました。監視兵に「私は自分の煙草を捨てたのだ。捕虜は勝手に捨てた。これが悪い行為だろうか」と言う監視兵は「ニコッ」とうなずいたと言います。私は偉大な父の背中を見てきてよかったなとも思っています。実は私の通った小学校は関東大震災にも壊れず救援物資の置き場になったといいますが、運動場は極めて小さく運動会は6年間この野球場の広いフィールドで気持ちよく開催しました。従って音楽会も今年建設101年目の横浜市開港記念会館で優雅におこなわれていました。戦後の占領下ではこの野球場は「ルーゲーリック球場」とよばれていました。横浜ベイスターズに変わって新しく横浜スタジアムが出来た時、なぜか私にベーブ・ルースとルー・ゲーリックの青銅製のレリーフを作ってくれと注文が来しました。今では顔を浮き彫りにしたレリーフが左右のホームランポールの下にあります。そして10年くらい前の開幕戦に500人のこどもを集めて踊らせてくれと言う連絡もあり、2年簡略して好評を博し、参加者にはユニフォームやレリーフそして観覧券二枚など頂きました。赤い靴ジュニアコーラスもフィールドのセンターで国歌とベイスターズの歌を皆に届けました。と言うわけで今年の「ハローよこはま」(中区民のお祭り)は横浜公園中心であったメインステージを日本大通りに移し、さらに象の鼻を加えたのです。数週間前より日本大通りは催事が多いので日曜日は車をストップさせ、歩行者天国になっていました。県庁の入り口に特設ステージが出来て横浜市民こどもミュージカルが「忍」SHINOBIのコンパクト版をお見せし、赤い靴ジュニアコーラスは合唱を披露しました。21日の日曜日、昨年天候が悪く中止になりました「東京湾大感謝祭」は、今年は晴れわたった青空の下で、横浜市民こどもミュージカルが元気にアピールしていました。五大路子さんの夢座公演「赤い靴の少女・母かよの物語」が11月8日(火)より14日(水)に公演があり、11日(日)の11時より12時30分にランドマークホールで赤い靴フォーラムがあります。静岡の清水、青森の鯉ヶ沢、北海道の留寿都、函館から関係者が見えてそれぞれの像の近況を報告し、横浜市立大学の佐藤響子教授のお話があります。これは無料ですのでぜひ大勢の方にお見えいただきたいです。お話の後は赤い靴ジュニアコーラスの合唱をお聞きください。2018、10、30 赤い靴記念文化事業団 団長 松永 春